

ADVISER

キャリアコンサルタント
村本麗子氏



ビジネスマンスクール東京・札幌の首席講師として年200回以上の授業に登場。公共団体や企業への研修の提供や、企業、経営者、起業家へのコンサルティングや講演など、活動は多岐にわたる。脳科学理論をベースとしたコーチングでは、北海道における第一人者。株式会社ヒト・ラボ 代表取締役。

キャリアアドバイザーに聞いた!

転職サリセス への道

ROAD TO "TENSYOKU SUCCESS"

vol.33

転職を考える前に、

クリアしておきたいこと

転職を考えている人とお話をすると「この人に転職は勧められない」と感じる場合があります。転職をしない方がいい人、それはどんな人なのでしょう。

客観的な視点で自分と周囲を見直しましょう

転職に限らず大切なこととして「自分を客観視できているか」が挙げられます。「自分はこんなに頑張っているのに!」「自分にはこんな能力があるのに!」など、あまりに自分しか見えていない場合は、何度転職しても満足できる結果は得られないでしょう。客観的な分析に基づいた自己評価、一つ上の階層から状況を捉える視点が必要です。

働く上で欠かせないのは「キャリアプラン」

具体的なキャリアプランがない方も、転職はお勧めできません。自分が進みたい方向、将来のビジョンが描けていない状態では、どこで仕事をしても、やりがいや楽しさを見いだすことは難しいかもしれません。例えば、現在の仕事が単純・単調でつまらなく思えても、それ

が目標達成につながる下積みならば、ただつまらないだけの毎日が意味のある日々に変わります。あのイチローでさえ、毎日の素振りや筋トレを欠かさなかったというのは有名な話です。

「将来につながるもの」があるかないかを考える上でも、キャリアプランは大切。ましてや将来のビジョンもなく、面接の場で質問されても答えられないようでは「何のためにうちの会社を受けたのか?」と思われるしまうのも当然ですね。不採用となるのもやむを得ません。

キャリアプランを実現する やりがいを見いだせる転職を

かつて「どんなにつらくても最低3年は頑張れ」と言われた時代がありました。3年もの間つらい環境で我慢するよりは、早く自分のキャリアプランに合った仕事に出合い、やりがいを感じながら日々を過ごした方が有意義では

ないでしょうか。しっかりしたキャリアプランとビジョンを持った転職で、悔いのない人生を送っていきましょう。

最後に、当然のことながら基礎的なビジネスマナーを身に付けていない人も転職はNG。社会人としての最低限の常識は不可欠です。